

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成19年12月8日

## 【評価実施概要】

事業所番号	4670500166
法人名	医療法人 杏林会
事業所名	グループホーム あんずの家
所在地	鹿児島県いちき串木野市桜町39番地1 (電話) 0996 - 32 - 8111

評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会		
所在地	鹿児島市城山一丁目16-7		
訪問調査日	平成19年12月1日	評価確定日	平成20年1月24日

## 【情報提供票より】19年11月1日事業所記入

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 8 月 18 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	17 人	常勤	16 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 16.7 人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄筋 造り		
	2階建て	1階	1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	12,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 900 円			

## (4) 利用者の概要 11月1日現在)

利用者人数	18 名	男性	1 名	女性	17 名
要介護1	6 名	要介護2	7 名		
要介護3	3 名	要介護4	2 名		
要介護5	名		要支援2	名	
年齢	平均 84.6 歳	最低	74 歳	最高	92 歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人杏林会 丸田病院・丸田歯科クリニック
---------	------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

串木野駅の近くにあり、周りは閑静な住宅地である。ホーム内は吹き抜けでリビングを中心に、各部屋を見渡せるゆったりとした作りになっている。職員は、「あなたがあなたらしく生きていくために、あなたを大切にします。」をモットーに本人本位の支援が行われ、利用者と職員の笑顔の溢れる暮らしが営まれている。また、母体が医療法人のため、利用者の急変時にも迅速に対応することができ、利用者も家族も安心して生活できている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	運営理念の明示、相談・苦情受付の明示は、改善されている。注意の必要な物品の保管、管理については、安全な場所に保管され改善がなされている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員は自己評価に対する意義は理解している。今回の取り組みは、管理者が書き込んだ自己評価表に職員が目をして個人の見解を出し合う方法で行っている。職員間の偏りがないように、全員が意識を持って取り組めるように期待します。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	今のところ運営推進会議は3ヶ月に1度ぐらいの割合で開催されている。地域の代表者が参加されることにより、地域の情報を得ることができ、ボランティアで詩吟をして頂いたり、地域との付き合いが増えてきている。今後も参加者の幅を広げ、多くの意見を聞きながらよりよいサービスの向上に繋げられることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	面会時には日頃の様子や健康状態などについて、家族に報告されている。家族からの意見・要望などは、個別に対応し、意見を頂いた時には必ずスタッフ会議で話し合い、ケアに生かしている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	ボランティア・中高生の職場体験学習の受け入れや、地域の小学校の運動会に参加したりしている。さらに、情報をこまめに集め利用者や地域の人々との交流が深められることを期待します。

## 2. 評価結果 (詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	新しく理念を作る為に、職員全員で意見を出し、話し合いをしてきたが、今の理念が良いということ、表現がまとまらず、新しい理念を作り上げるに至っていない。		職員全員が地域密着型サービスの役割を理解して、住み慣れた地域での安心した暮らしを支えるための理念を作られることを期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	スタッフ会議において、管理者は職員に理念の意識付けを行っている。また、職員は、利用者の自己決定を大切にしている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に加入し、リサイクル運動や地域の運動会などに参加している。ボランティアや中高生の職場体験なども受け入れている。		積極的に地域との関わりを持とうと努力されていることが伺えますが、利用者に喜んでもらえるような近隣との交流が、さらになされることを期待します。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の評価における改善点は、改善がなされている。今回の自己評価の取り組みは、管理者が書き込んだ自己評価表を、職員が目を通して意見を出し合うという方法で行っている。		自己評価の意義とねらいについて、管理者と職員全員でよく話し合い、ケアの振り返りや見直し等が行われることにより、さらなるサービスの質の向上につながることを期待します。
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	今までに4回運営推進会議が行われている。地域代表者の出席により、地域の情報を得ることができ、行事への参加やボランティアの受け入れに繋がっている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の担当窓口へ直接出向いて、申請を行ったり研修の通達などについて確認するなど、事業所側から積極的に働きかけている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	あんず便りは3ヶ月に1回発行され家族に郵送されている。月1回の支払い日に個別に日々の様子や状態などを報告し、金銭出納帳と領収書のコピーを渡している。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	月1回の支払日に個別に対応し、苦情や意見などを伺っている。出された意見や要望はスタッフ会議で話し合い、反映させている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員を固定化し、顔馴染みの職員によるケアが行われているので、落ち着いた状態である。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修は職員の希望を聞いて、順番に受講できるようにしている。また、外部研修の報告が内部研修となっている。		管理者も職員も、救急医療に対する不安を感じているので、必要な研修の計画を事業所独自で継続的に行うことにより、自信をつけてより質の高いケアを行うことができるように期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	薩摩半島地区グループホーム協議会に加入して、年3回事例発表等の研修会を行っている。新人研修では、他のグループホームの見学に行ったりしている。		薩摩半島地区の範囲が広すぎるため、串木野地区だけの会を開きたいと希望しているので、各関係機関と連携をとり実現できることを期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>家族のみの場合もあるが、必ず見学して頂いている。職員が家の方に伺うこともあり、安心感を持ってもらうようにしている。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>「共に暮らす」ということを生活の基本においている。畑作業の得意な人や白菜漬の得意な人に教えてもらっている。開所時は元気な人も年齢を重ねて機能も低下しているので、それに合わせた働きかけをしている。</p>		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員が顔を窺いながら状態を把握したり、家族や近所の人から情報を得たりしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>家族の意見や職員が気づきを記録している生活記録用紙をもとに、スタッフ会議でカンファレンスを行っている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>変化のない人については、3ヶ月から6ヶ月単位で行っている。状態が変化した場合については、カンファレンスを行い見直しを行っている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	利用者の状況に合わせて往診してもらっている。家族の状況に応じて通院介助等の支援を行っている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者が在宅の時からのかかりつけ医となっている。また、受診や通院は利用者や家族の希望に応じて対応している。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化に伴い主治医・家族を交えて対応できる限界を話し合い、家族の協力の確認を得ながら看取りまで行っている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	秘密保持の徹底やプライバシーについての勉強会などは行われていないが、トイレの声かけなどは大きな声にならないように配慮されている。		プライバシー確保については、言葉遣いや礼儀など慣れあいになっていないか、意識付けをする為にも全職員が具体的に話し合う機会を持つことを希望します。
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	朝寝坊したり、1日1回必ず散歩にいたり、買い物に行ったりと利用者のペースで過ごせるように支援している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	その日の献立は利用者の意見を取り入れ、盛り付けや配膳・片付けはみんなで行うようにしている。職員も利用者と同じテーブルについて、ゆっくり語らいながら食事を楽しんでいる。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日、利用者の希望に添って入浴が出来る。拒む利用者には、連携して声かけしたり、時間を置いて誘うなど工夫をしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	梅干作り・ラッキョウ漬けをするときには、教えて頂いたり、歌や編み物、字のきれいな人には宛名書きをお願いしたり、得意分野で活躍してもらえるように配慮している。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日にはお弁当やおにぎりを持って公園へ出かけたり、気分が沈みがちの人がいたら、ドライブに誘ったりしている。希望があれば墓参りにも付き添っている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関その他の所にも鍵はかけていない。外出の傾向を把握しているし近所の方々にも声かけしているので、連絡してもらえるようになっている。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年2回、消防署も参加しての夜間想定火災訓練を行っている。地域の協力体制については、運営推進会議で町内の協力をお願いしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	今は栄養士のチェックをうけていない。水分量の記録は、受診時に問題のあった利用者以外はつけていない。		母体の関連施設の栄養士に、カロリー・バランスなど専門的な指導を受けることを希望します。また、水分量については、職員間で意識を持つ為にも、記録をつけることを希望します。
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広いリビングに食事のテーブルを一行にしている。各部屋の入り口には、のれんがかかけられ職員が描いた似顔絵が張られている。壁には、パッチワークで作られたクリスマスを思わせる壁掛けが掛けられ、ソファでは編み物をするなど利用者はゆったりと過ごしている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	部屋には使い慣れた椅子や筆筒、テレビ・冷蔵庫などが持ち込まれている。また、趣味で集めたものや、得意の折り紙で作ったものを並べるなど、居心地よく過ごせるように工夫している。		

&lt; 認知症対応型共同生活介護用 &gt;

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	4670500166
法人名	医療法人 杏林会
事業所名	グループホーム あんずの家
訪問調査日	平成 19 年 12 月 1 日
評価確定日	平成 20 年 1 月 24 日
評価機関名	特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会

### 項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### 記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### 用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

特定非営利活動法人 社会保障制度活用支援協会